

東邦車輛株式会社 殿

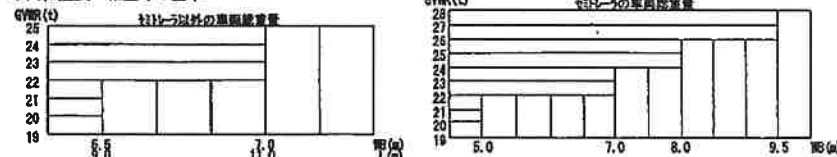
概要等説明書 (改造自動車審査結果通知書)

(指示事項)

主要諸元比較表 標準車の類別等を記載する。(0720)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度	
車名	東邦	←		乗車定員人	-	-		
型式	TF36H2C3	←		最大積載量 kg	29000	25400		
自動車の種別	普通	←		車両重量 kg	前前軸重	10540	9265 (19940kg)	
用途	貨物	←			後前軸重	8485	8905 ≤10t (11360kg)	
車体の形状	セミトレーラ	ノンセットトレー			後中軸重	8485	8910 ≤10t (11355kg)	
燃料の種類	-	-			後後軸重	8480	8910 ≤10t (11355kg)	
原動機型式	-	-			計	35990	← ≤24t (48620kg)	
長 さ	12.145 (11.600)	9.380 (8.720)	≤12m	最大安定傾斜角度	右 50	* 42	一般 ≥35°	
幅	2.490	←	≤2.6m	左 50	* 42	その他 ≥30°		
高さ	2.260	3.530	≤3.8m	タイヤサイズ	前前軸	-	-	
軸 距	6.910+1.300	4.700+1.300			後前軸	11R22.5	←	(10000kg)
	+1.300	+1.300			後中軸	11R22.5	←	(10000kg)
前前軸	-	-			後後軸	11R22.5	←	(10000kg)
後前軸	1.850	←		前軸荷重	空車	-	-	
後中軸	1.850	←		割合%	積車	-	≥18, 20%	
後後軸	1.850	←		リヤ・オーバーハング	2.090	1.305	≤1/2 (3.650m)	
室内又は荷台の内寸	長さm 12.000	8.500		荷台オフセット	2.610	1.650		
幅	2.460	2.200		最小回転半径	-	* 8.3	≤12m	
高さ	-	0.900						
車両重量 kg	前前軸重	1320	2280					
	後前軸重	1890	2770					
	後中軸重	1890	2770					
	後後軸重	1890	2770					
計	6990	10590						

車両重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	- kg ≤18t	- kg ≤20t	17820 kg ≤19t

能力強度等検討

制動能力	踏力 - kg	60 km/h 39	車軸強度	X
	空気圧	637kpa	操縦装置強度	-
操縦装置	回転数	-	緩衝装置強度	X
	強度	-	制動装置強度	X
車軸強度		X	連結装置強度	X
		X		X

- 注1. 能力強度検討欄は、該当しないものは、省略したものはXを記入すること。
- 注2. 指示事項欄又は能力強度検討欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付書類を提示すること。(9.(1)関係)
- 注4. \*印は いすゞ QDG-EX262AJ型トランクと連結時の計算値を示す。

BA024225

装置の概要

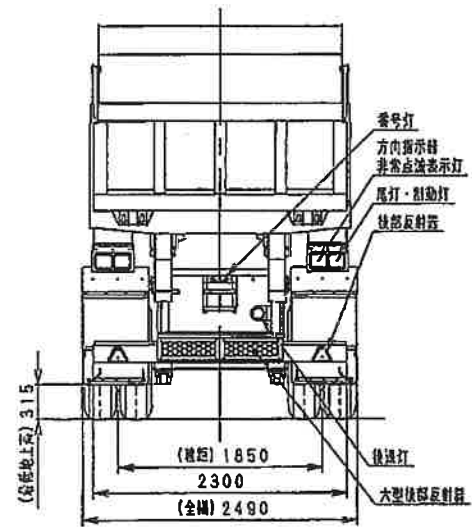
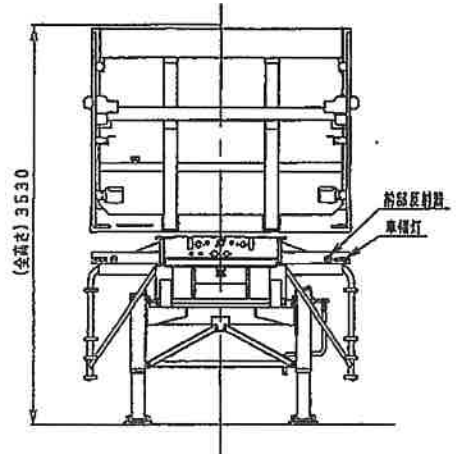
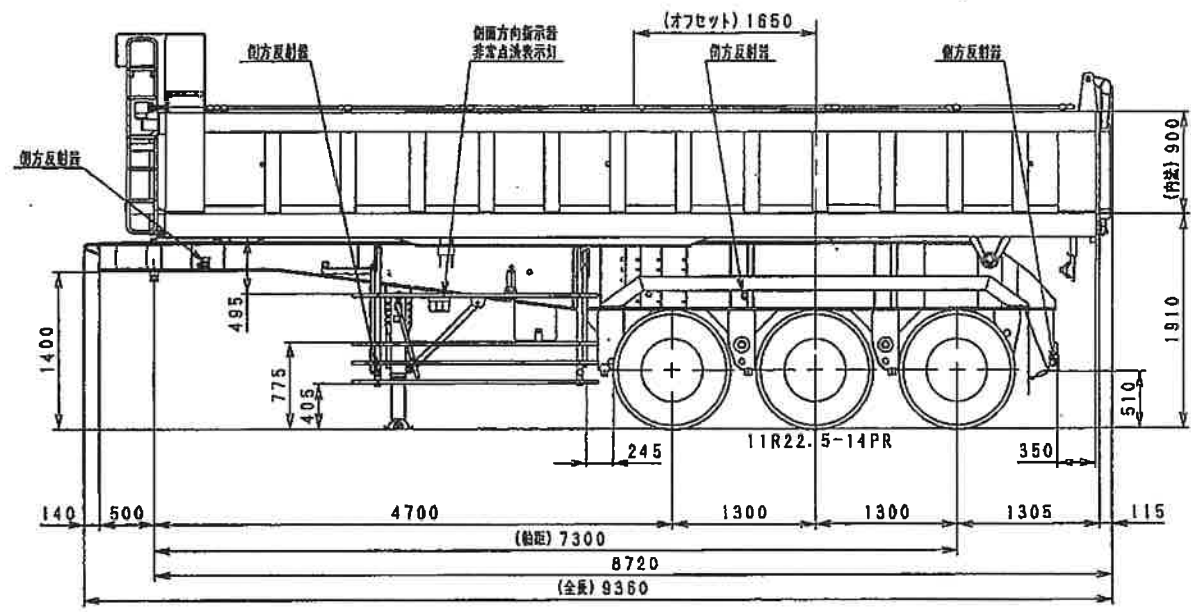
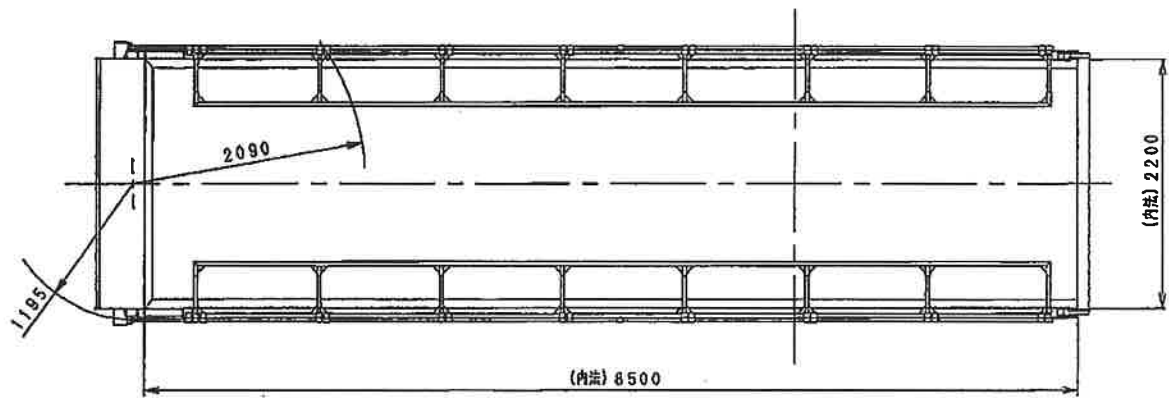
目的	東邦TF36H2C3型(25国自警第308号新02125号、類別0720) セミトレーを分割可能な貨物の安全輸送をはかるため変更する。(あおり型 固縛を前提にしないもの)
車枠及び車体	
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1 該当する事項が無い場合については、斜線で記入すること
- 注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

## 改造等の概要補足説明

型式：東邦 TF36H2C3-83117～83126 型

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none"><li>・フロントオーバーハングを 0.100m 延長する。0.400m → 0.500m</li><li>・緩衝装置ブラケットを前方に 2.210m 移動することにより 最遠軸距を <math>6.910+1.300+1.300=9.510\text{m}</math> → <math>4.700+1.300+1.300=7.300\text{m}</math> に変更する。</li><li>・フレーム長さを 3.295m 短縮 (12.000m → 8.705m) することにより、 リヤオーバーハングを 2.090m → 1.305m に変更する。</li><li>・軸距短縮に伴う最遠軸距間における標準車からのフレーム変更はありません。</li><li>・突入防止装置は「協定規則第58号第2改訂版25.の技術的な要件」を満たすものを取り付け、JABIAプレートを取り付ける。</li></ul>
--------	--



東邦TF36H2C3型  
セミトレーラ外観四面図